

その後
どうなった？

自学自習に合わせた活用へ！



当たり前になりつつあるタブレット学習

教育支援センター「ステップ」では、学校同様のタブレット学習が進められている。また、通うことが困難な児童生徒は、自宅からも授業を受けられるようになり、今年度は、中学校から授業配信を行った。

その後

Q 不登校児童・生徒のタブレット使用による学習はどのようになっているのか。

A タブレットを自宅に持ち帰り、タブレットドリルやアプリを使用し、家庭での学習を進めている。教室で行っている授業を配信し、視聴できる環境整備はされている。

(令和4年3月議会)

※砂川会館内の教育支援センター「ステップ」では、不登校やその傾向にある児童生徒に、学校復帰のための支援や社会的自立に向けた学習の指導を行っています。今後も個人に合わせた学習方法を選択できるように事例研究や聞き取りを進めていきます。

生徒や保護者に聞いてみました！

リモート授業への活用ができてうれしい。

教科書だけでは理解できない内容の動画解説がとても役立つ。

視覚、聴覚で学べるため、苦手教科も学習に取り組めるようになった。

中学校やステップの先生に聞いてみました！

自学自習の体制に合わせることができてよい。

アプリの管理やタブレットの容量に課題を感じる。

生徒会でアンケートのためにタブレットを活用したり、不登校生徒への授業配信をしたりしている。生徒は使うことが当たり前になってきている。

議員が行く！ 行政視察レポート

新庁舎は耐震対策を万全に

総務企画
委員会



安曇野市新庁舎



新庁舎の駐車場

長野県長野市議会

10月30日

議会タブレットを導入し、5年間で180万枚の紙を削減しています。本町議会でもペーパーレスをさらに促進させていきます。

長野県安曇野市議会

10月31日

新庁舎は免震構造と地下駐車場が一体となっており、震度7程度の地震に対応できます。雨の日も利用しやすく、高齢者の方や障がいをお持ちの方にも優しい駐車場になっており、大変参考となりました。

空き家とまちづくりを視察！

建設経済
委員会



益城町復興まちづくりセンター



福岡県福岡市議会・社会福祉協議会 11月9日

空き家を、福祉や地域活動の拠点として活用するなど、空き家をつくらない様々な取り組みがありました。

熊本県益城町

11月10日

熊本地震を乗り越え、復興のまちづくりに全力の益城町へ視察に行きました。参考になるアイデアや力強さを感じました。